

式辞

春たけなわ、吹く風もさわやかに感じられるこのよき日に、令和 7 年度の崇城大学入学式ならびに大学院入学式を挙行できますことは、教職員一同、喜びと感謝の念に堪えません。本日は、ご多用の中で、ご来賓ならびに保護者の皆さまにもご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

まずは、5 学部の各新入生の皆さん。また、工学および芸術の大学院研究科に進学された皆さん。本日のご入学、誠におめでとうございます。そして、皆さんを温かく見守っておられる保護者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。ご子息・ご息女の晴れ姿を間近にご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。

さて、学部新入生の皆さんは、およそ 2 年前に新型コロナが 5 類感染症に移行するまで、中学および高校の授業だけでなく学校行事やクラブ活動、交友関係も規制されるなどの苦難を経験して来られました。これまでの思い出として心残りであったことも併せて、本日から新たにスタートする大学生活を存分に楽しんでください。皆さんには様々な学びの場を用意していますので、勇気を持って行動し、学生時代にしかできない素晴らしい経験をたくさんしてほしいと思います。本学では、将来を見据えた DX および SDGs の推進により、常にキャンパス環境の充実に努めています。その上で、国内外で積極的に教育研究活動をしている教員と職員が一丸となり、学生のキャンパスライフを支え続けています。今年も、夢や希望を抱いて本学に入学してくれた新入生に感謝し、皆さんの思いに沿えるように教職員一同、全力を尽くしてまいります。

このたび、大学院研究科の厳正な入学試験に見事合格し、それぞれの専攻に進学された皆さん。学部教育で培った学力を生かし、さらに高度な知識や専門性を身につけてください。指導教員のもとで優れた研究成果を上げて、国内外の学会やイベントなどで社会貢献されることも大いに期待しています。

本日、皆さんの中には外国人留学生も数多く確認できます。晴れて入学を迎えられ、心より祝福したいと思います。日本語の習得や日常生活での習慣の違いなどに苦労するかもしれませんが、目標とする学業に励みながら、本学が進めているグローバルな異文化交流にも気軽に参加してください。

ところで、国内では、与党が 30 年ぶりに過半数を大きく下回るといった政治変動が生じる中で、歴史的な円安や物価高が続いています。また、昨年が発生した能登半島地震や奥能登豪雨からの復旧の遅れは、依然として人びとの心を痛めています。このような地球規模の自然災害や近年の異常気象に加えて国外に目を転じますと、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化し、中東問題も悪化するなど、国際情勢は不透明かつ混迷の度合いを増しています。その上、日本との同盟国であるアメリカの自国第一主義が台頭していることも世界秩序へのマイナ

スの影響が懸念されます。何れにしても、大地震などに見舞われた被災地や荒廃した戦場の様子がリアルに報道されるたびに、すでに約 9 年経過した熊本地震の時そうであったように、若い皆さんのアグレッシブなエネルギーやパワーが将来に向けた創造的復興への希望につながるものと思っています。

いま、人工知能 AI や、モノがインターネット経由で結ばれる IoT の普及に伴い、Society5.0 のスマートデジタル社会が到来しようとしています。人びとの創造活動を模倣するチャット GPT などの生成 AI が既存の産業構造や社会の価値観をすでに大きく変えつつある現在、日本は明治維新と戦後に続く「3 番目の大改革時代」を迎えているとも言われます。例えば熊本でも、台湾から進出した世界最大の半導体受託製造企業である TSMC の動向は、国内産業の歴史的な社会変革を導くことになると思われます。このように世界情勢の変化が激しい近未来社会において、先端技術のイノベーションにより新しい価値を創り出し、人類の平和で豊かな未来社会を築いていくには若い人びとの柔軟な総合知が必要です。そのため、本学では「ポスト AI 時代の知の拠点」を見据えて、学修者本位の教育の実質化を目指した斬新な改革を進めているところです。

皆さんは、初めての大学生活に希望あるいは不安を持ちながら、この場におられることと思います。本日は、皆さんに次の 3 つのアドバイスを贈ります。まず、第一のアドバイスは、それぞれの学科や研究科の専門教育をこれから受ける中で、前に踏み出す力として大切な主体性を磨くことです。本学では、建学の精神「体・徳・智」のもと、「学生の心に火をつける」をモットーに実学主義の体験型教育に力を入れています。そこで、授業のみならず課外活動においても、大学の学びを深化できる各種センターやギャラリー、研究所などの施設・設備を有効に活用してほしいと思います。オープン AI の CEO で、チャット GPT の生みの親であるサム・アルトマンは、「自分がしたいことをやらない理由を作り出させてはいけない」と述べています。大学にはハイレベルの教育と研究に主体的に取り組める絶好のチャンスの方が数多くありますので、皆さんには失敗を恐れずに貴重な経験を積まれるよう期待しています。今後は、学生の自己点検評価のために導入した本学独自のポートフォリオシステムにより、何を学んだかではなく、何ができるようになったかを自分自身でも追求してください。

次に、第二のアドバイスは、加速するグローバル時代を生き抜く国際力を身につけることです。本学には学内にいながら海外気分が味わえる SILC という英語学習施設があり、ネイティブ教員の直接指導により実践的なコミュニケーション英語にチャレンジできます。この SILC 内に設けた英語の自立学修センター SALC では、一人ひとりの目標に合わせた自由な学びも可能です。加えて、国際交流センターが皆さんの外国への留学や研修に関わるプログラムあるいはイベントを紹介し、さらに奨学金制度なども充実させて国際交流活動を積極的に支

援しています。海外協定校は現在 42 校ありますので、ぜひ在学中に思い切ってグローバル体験をしてみてください。

そして、第三のアドバイスは、新しい学びにも勇猛果敢に挑戦し、自身の隠れたポテンシャルを引き出すことです。本学では、起業家精神を育むアントレプレナーシップ教育により、独創性、創造力や課題解決力などを系統的に養成しています。このような理文融合教育に結びついて、SOJO アントレプレナーシップラボでの部活動、あるいは学内外のビジネスプランコンテストにも参加できますので、皆さんのチャレンジに期待します。また、将来に欠かせない数理・データサイエンス・AI 教育の履修プログラムを全学展開させており、高いデジタルスキルを身につけて情報活用力の向上も目指すことができます。最先端の ICT 技術により近未来空間を体感できる本学の IoT・AI センターでは、企業や地方自治体と連携したプロジェクト型アクティブラーニング、異分野融合のメタバースコンテストなど、様々なイノベーションの場を提供しています。皆さんには生涯にわたり大切な新しい友達づくりとともに、未知のことにもたくさん挑戦してほしいと願っています。本学の先進的な体験型教育は、まさに皆さんの「ワクワク・ドキドキ感」を高めることになると思います。一人ひとりの興味・関心が刺激されて楽しさや面白さを味わえば、必ずモチベーションが上がります。若い皆さんは、大学生活で経験を重ねるごとに大きな自信をつけて、地域社会から求められる人材へと成長するはずです。どうか一緒に、本学を「感謝と笑顔のあふれる温かいキャンパス」に盛り上げていきましょう。

最後になりますが、皆さんには運命を生きるのではなく、自分自身の運命を切り拓く力があります。本学でどのように過ごし、何を身につけたかにより、皆さんの将来への道筋は大きく変化します。これから始まる学生生活を通して、限りない可能性を秘めた皆さんが健康で逞しく成長されることを心から祈念し、式辞といたします。

令和 7 年 4 月 5 日
崇城大学学長 小野長門